

# 厚生文教常任委員会会議録

- 1 日 時 平成30年3月14日(水)  
15時42分開会 16時02分閉会
- 2 会議場所 役場3階第1委員会室
- 3 出席議員 委員長：安田 薫 副委員長：北村光明  
委 員：大谷昭宣、原 紀夫、奥秋康子  
議 長：加来良明
- 4 事務局 事務局長：佐藤秀美、係長：宇都宮学、主任：鵜田瑞恵
- 5 説明員
- 6 議 件
  - (1) 所管事務調査の申し出について
  - (2) 議会報告会と町民との意見交換会について
  - (3) その他
- 7 会議録 別紙のとおり

委員長（安田薫）：ただいまより厚生文教常任委員会を開会する。今日の議題は、所管事務調査の申し出と議会報告会と町民との意見交換会に向けてテーマを設けることであるので、よろしく願います。

### 議件（1）所管事務調査の申し出について

委員長：所管事務調査の申し出について協議を行う。前回の委員会において委員の皆さんから1項目ずつ挙げてもらうということになっているので、是非意見を願いたい。

大谷委員：清水高校の問題と思ったが、一般質問がなされある程度の回答が得られた。急に今年の定員割れがすごい数のような気がするので、その辺をもう少し深く調査をし中学校などの意向などを含めて調査してほしいと思う。

奥秋委員：清水町に障がい福祉計画があるが、いろいろな障がい者の雇用の促進も図っていかねばならないということもあるので、清水町における現状と課題というか、その実態だとか、経済的に自立していけるためどのような制度があるのかどうか、私たちも調査をしてもいいのかなと思った。障がい者がより安心して暮らせるために、そういうものも必要かと思った。

委員長：内容が幅広いが。

奥秋委員：幅広いがそういうものに今まで直接関わったことがない。高齢になって障がいになる方もいるし、知的障がい者、精神障がい者、身体障がい者などいろいろあるが、どんな雇用の場があるのか、それに対して、清水町の現状としてどういう自立するための施設があるかなど、ちょっと調査したいと考えてきた。

原委員：大谷委員が言われたように、清水高校については相当深刻に考えないとだめだろうという認識に立っている。屈足中学校のほうからいろいろな請願が出ているものも全く日の目を見ないでいるということは、教育委員会も危機感がないと私は思っている。そういうことを含めて最終的には清水高校まで行って校長を含めていろいろな考えを聞いてくるという必要があるのではないかなと思っている。

北村委員：2点ある。1点目、コミュニティスクールをやるといっているが一向に進んでいないと思っている。清水町は条件が整っている町ではないかなと思っているが、その割には進んでいないと思うので、その件について調査をしたい。もう1点は、郷土史料館か図書館。全部やるのは大変かもしれないのでどちらかに分けて委員会として1回見ておく必要があるのかなと思っている。

委員長：私もちょっと今の時期にはと思うが、図書館の活用というか、もう少し町民に近い図書館になってくれたらなということで、図書館を挙げたいと思う。かなり出たが、大谷委員と原委員は同じ内容。奥秋委員の障がい福祉計画についてはどのようなものか。

奥秋委員：清水町の現状。

原委員：奥秋委員が言われているのは何か問題点があってということが前提にあって言われているのか。

奥秋委員：問題点というよりは、自立促進のために清水町にはそういう施設があるのか、障がい者をどのくらい雇用しているのかということもある。障がい者といっても程度があるので、障がい者が働ける場所が清水町にどれくらいあって、健常

者と同じように働き場所があるのかなということがある。町が把握しているのかわからないが、1回もこの件に関わったことがないので一度調査したいと思ったが、皆さんで決めていただきたい。

原委員：旭山学園の施設もある。そういうことを含めての話か。

奥秋委員：そう。

委員長：この件については、町がやっているものと、旭山学園がやっているものと幅が広い。これも今後の議題としておいてもう少し皆さんで検討してもらいたい。北村委員の言ったコミュニティスクールについて、教育委員会の立場的にはどういう持っていきかたをしたらいいのか。

北村委員：去年の教育行政執行方針の中でコミュニティスクールを進めるとなっているが、どう進んだのか全然わかっていないし、今年も同じような答えなのでどうなのかなど。現実には進んでいないのではないかと思っている。

委員長：コミュニティスクールは、内容的にもっと地域に根ざすというものか、地域がもっと学校入っていくというものか。その辺はどうなのか。

北村委員：地域の人が学校との関わりを持って行って、コミュニティスクールに関わる人たちが集まって会議をする場所があるとか、そういったところが必要だし、それを進めるために、教育委員会なり学校の中に専任の人がある程度は必要ではないか。その現状を把握したい。

原委員：コミュニティスクールについて、予算審査特別委員会でまだ教育関係に入っていないので、そこで一度お尋ねして、その結果を見てからにしたほうがいいのでは。私の言っている清水高校も同じようなことであるが、ちょっと振興会等の関係もあるので。清水高校について振興会と考え方が違うとまずいので、その辺を含めて検討したらいいのではないか。

委員長：休憩する。

【休憩 15:54】

【再開 15:57】

委員長：再開する。清水高校の定員割れ問題を絡めた所管事務については、時期については合っているので、振興会を通じた中で、学校と話し合いができればいいなと思う。清水高校の振興策について最初に持って行ってよろしいか。

(はいの声あり)

委員長：奥秋委員から出た障がい福祉計画や北村委員から出たコミュニティスクールについて、今後委員会で取り上げることが可能である。前回の所管事務調査は3項目を挙げて厳しかったが、項目数はどうするか。

原委員：1項目でよいと思う。

委員長：清水高校の振興策の1項目とさせていただきたいがいかか。

(よろしいの声あり)

委員長：所管事務調査としては、「清水高等学校の振興策について」とさせていただく。その他突発的な事項もあるので、「その他所管に関する事項について」の申し出も行う。

## 議件（2）議会報告会と町民との意見交換会について

委員長：議会報告会と町民との意見交換会について、各常任委員会から挙げてもらい、そのテーマに基づいて行うことになっている。前回の委員会において委員の皆さんで考えてきてもらうことになっている。皆さんから何か意見はあるか。

原委員 : 清水町議会の議員報酬と定数について町民の意見を聴くということでしょうか。今議会活性化特別委員会で検討をしております町民からの意見を聴きたいと思うのでよろしく願います。

委員長 : 今原委員から挙げられた清水町議会の議員報酬と定数についてというテーマでよろしいか。他にないか。

原委員 : これを提案するに当たり、より多くの町民に来てもらうことにウエイトを置いてもらいたい。清水町の今後の議会について町民の意見を幅広く聴取をする中で進めたいので、今までの案内文書に肉付けをしてもらって、多く来てほしいことは書いてもらいたい。

委員長 : 原委員から挙げられた清水町議会の議員報酬と定数についてというテーマについては、町民も関心を持つテーマではないかと思うので、この委員会からはこのテーマを出すということによろしいか。

(よろしいとの声あり)

委員長 : 本委員会としては、清水町議会の議員報酬と定数についてというテーマを挙げる。

### 議件 (3) その他

委員長 : その他であるが、皆さんから何かあるか。

(なしの声あり)

委員長 : それでは、以上で今日の会議を終わる。ご苦労様です。